

2023年5月13日・14日

日本保育学会第76回大会ポスター発表(C000313)

遊びのなかの言葉をてがかりにした

5歳児の思考力発揮の分析

ベネッセ教育総合研究所

杉田美穂 小野塚 若菜

背景と課題意識

背景

幼児期と児童期の接続期の連携が交流的なものにとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成や実施が十分ではない（中央教育審議会,2022）。

日本の保育者は社会情緒的なスキルの育みを重視する一方で、言葉や思考力に関わるスキルの育みへの意識は高くない（国立教育政策研究所,2020）。



**保育者が言葉や思考力に関わるスキルの育みへの意識を高めることで
幼小接続期のカリキュラム編成や実施に活かす視点になる
ことが期待できるのではないか**

**幼児期あるいは小学校以上における思考力は一貫的に育まれている
ことを、幼児教育と小学校教育それぞれの立場から理解する必要**
(内田・津金, 2014 ; 泰山・小島・黒上, 2014)

本研究における思考力の定義

(小野塚・泰山, 2021; 泰山・小島・黒上, 2014)

学習指導要領において育成が想定されている

思考スキルを発揮すること

多面的にみる	多様な視点や観点にたって対象を見る
変化をとらえる	視点を定めて前後の違いをとらえる
順序立てる	視点に基づいて対象を並び替える
比較する	対象の相違点, 共通点を見つける
分類する	属性に従って複数のをまとまりに分ける
変換する	表現の形式(文・図・絵など)を変える
関係づける	学習事項同士のつながりを示す
関連づける	学習事項と実体験・経験のつながりを示す
理由づける	意見や判断の理由を示す
見通す	自らの行為の影響を想定し, 適切なものを選択する
抽象化する	事例からきまりや包括的な概念をつくる
焦点化する	重点を定め, 注目する対象を決める
評価する	視点や観点をもち根拠に基づいて対象への意見もつ
構造化する	順序や筋道をもとに部分同士を関係づける
推論する	根拠にもとついて先や結果を予想する
具体化する	学習事項に対応した具体例を示す
応用する	既習事項を用いて課題・問題を解決する
広げてみる	物事についての意味やイメージ等を広げる
要約する	必要な情報に絞って情報を単純・簡単にする

目的

- ◆ **言葉を手がかりとして、5歳児の遊びのなかにどのような思考スキルの発揮を見とることができるか。**
- ◆ **見とることができた場合、どのように整理することで、保育者の言葉や思考力に関わるスキルの育みへの意識を高めることに貢献するか。**

以上の2点を明らかにすることを目的とする。

方法

① 幼稚園教育要領等に見出せる思考スキルの確認

- 対象：10の姿および小学1,2年の国・算・生活の学習指導要領解説の記述内容
- 方法：思考スキルの枠組みを用い、発揮が想定できる思考スキルを対応付けた。

例：「冬に容器に入れた水が凍り、誰が一番厚い氷ができたかを比べる中で、なぜある場所に置くと厚い氷ができるのだろうか」と疑問が生まれる。」（「10の姿」解説(7) 自然との関わり・生命尊重）
⇒「比較する」「関係づける」「理由づける」の思考スキルを発揮していると想定した。

② 5歳児の遊びにおける思考スキルの検証

- 対象：5歳児が思考を働かせていると想定できる具体的な遊び 計35事例
 - A) 「幼児の遊びにみられる学びの芽」（ベネッセ次世代育成研究所, 2008） 9事例
 - B) 保育者が記述した5歳児の遊びの事例 26事例
- 方法：5歳児の遊び場面を、発表者と保育者の複数名によって協議
 - 1. 子どもの言葉を手がかりに、発揮している思考スキルを想定し対応づけた。
 - 2. 子どもが思考を働かせていると想定される言葉を状況とともに一覧化した。
 - 3. 2. を基に活動例を記述し実際の保育場面における了解性を確認した。

結果

①幼稚園教育要領等に見出せる思考スキル

n=子どもが発揮しているとした思考スキルの数

	幼 10の姿	n		小 生活科	n		小（低）国語	n		小（低）算数	n
1	見通す	7	1	関連づける	6	1	順序立てる	16	1	関係づける	13
2	評価する	6	2	多面的にみる	5	1	焦点化する	16	2	比較する	11
3	関係づける	5	3	比較する	4	3	関係づける	13	3	抽象化する	8
3	理由づける	5	3	見通す	4	4	評価する	8	4	関連づける	6
5	多面的にみる	4	5	変化をとらえる	3	5	関連づける	7	4	見通す	6
5	比較する	4	5	抽象化する	3				4	評価する	6
			5	評価する	3						

対応づけられた上位の思考スキルには「見通す」「評価する」「関係づける」など、幼小に共通する思考スキルが複数あった。

あめのおかげ？

5歳児 4月

晴れた日に大きな砂場のある公園へお散歩に行きます。到着するとさっそく子どもたちは砂遊びを始めました。さらさらした砂ではなかなか大きな山にはならず悪戦苦闘していました。雨が降った次の日、保育者は同じ公園へ行くことにしました。

○保育者のねらい
晴れた日にうまく山が作れなかった子どもの様子をとらえ、雨の降った翌日に再び公園で砂に親しむことで、水分を含んだ砂の様子の変化に気付いてほしい。

A児「あれ!?山がつくりやすい」

【比較する】晴れの日と雨の翌日の砂の様子を比べ違いに気付いている

B児「ほんとうだ」

【変化をとらえる】晴れの日と雨の翌日の砂の様子の変化に気付いている

C児「雨が降って、砂がぬれたからじゃない?」

【理由づける】作りやすくなったのは、砂が雨にぬれてまとめやすくなったことが原因と述べている

山がどんどん高くなりトンネルも作ることができました

思考スキルの発揮が想定できる5歳児の遊びのなかの言葉を手がかりに、35事例を分析した結果、すべての思考スキルの萌芽の発揮を見とることができた。

- A) 35事例の分析から、思考スキルごとに5歳児が思考を働かせていると想定される言葉を状況とともに一覧化
- B) 日々の保育において保育者が子どもを見とる視点として共通に理解しやすいように活動例を記述

思考スキルの発揮を想定できる5歳児の具体的な言葉と活動例(抜粋)

思考スキル	A) 「見通す」を発揮している5歳児の具体的な言葉	B) 5歳児の活動例
<p>【見通す】 自らの行為の影響を想定し、適切なものを選択する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「『くださいね』って書くほうが、読んでいる人にやさしいかんじだよね？」 …保護者におけたやさしい伝え方を考えて、保育者に相談している。 「とけたら、レインボージュースになるかも！」 …色を付けた雪が溶けたら虹色の層になることを期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人を喜ばせようとして計画をしたり、分かりやすいように伝え方を工夫したりする。 身近な事象や事柄について、次はこうなるのではないか、あるいは、なってほしいと予想をする(根拠は感覚的なものであることが多い)。

結果のまとめと今後の課題

幼児期の遊びと児童期の学びのつながりを確認

思考スキルの枠組みを用いて、10の姿と学習指導要領を分析し、共通のスキルが見いだせたことにより、児童期以降の学習活動で育むことが企図されている思考力の芽生えが5歳児の遊びのなかに現れていることが示唆された。

保育者が子どもの「考える」を見とり育む意識への効用

思考スキルの観点を意識することにより、子どもの姿や言葉に様々な「考える」があることに気付き、小学校の学習活動への見通しをもちながら、子どもの思考を深める環境構成に生かすことに寄与できる可能性が示された。

但し、表出する子どもの言葉は、保育者や友だちとの関係性や全体の文脈から捉えられるものであり、画一的に捉えられない。一人ひとりに応じた丁寧なみとりが必要となる。

<今後の課題>

- 思考の発揮を促す養育者の援助や環境のありかたを明らかにする
- 思考スキルの枠組みを用いた子どもの資質・能力の見とりや活動例が示されることによって、小学校教師が幼児期の遊びを通した学びを理解し、入門期のカリキュラム編成や実施に活用できるかを検証

【参考文献】

・文部科学省(2010)「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について(報告)」

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2011/11/22/1298955_1_1.pdf(2022.11.25アクセス)

・文部科学省(2022)「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会(審議経過報告)」

https://www.mext.go.jp/content/20220405-mxt_youji-000021702_2.pdf (2022.11.25アクセス)

・国立教育政策研究所(編)(2020)「幼児教育・保育の国際比較 OECD 国際幼児教育・保育従事調査2018報告書 質の高い幼児教育・保育に向けて」明石書店.

・内田伸子,津金美智子(2014)「乳幼児の論理的思考の発達に関する研究—自発的活動としての遊びを通して論理的思考力が育まれる—」保育科学研究, 第5巻 131-139.

・泰山裕, 小島亜華里, 黒上晴夫(2014)「体系的な情報教育に向けた教科共通の思考スキルの検討:学習指導要領とその解説の分析から」日本教育工学会論文誌, 37(4):375-386.

【謝辞】

本研究は、共同研究者として、ベネッセ新横浜保育園 園長 梅澤京子先生、ベネッセひまわり保育園 主任 鈴木久美子先生に、事例の提供・分析にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。